

作成日 : 2014 年 6 月 13 日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : オンコルマイクロカプセル  
 会社名 : OATアグリオ株式会社  
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階  
 担当部署 : 品質保証部  
 電話 : 088(684)0220  
 FAX : 088(686)7055  
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0262(事業推進部)  
 整理番号(SDS No.) : OAT0095-7

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名(又は一般名) : ペンフラカルブマイクロカプセル剤(殺虫剤)

成分名 : エチル=N-2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチルベンゾフラン-7-イルオキシカルボニル(メチル)アミノチオ-N-イソプロピル-β-アラニナート(一般名:ペンフラカルブ)  
 含有量(%) : 20  
 CAS No. : 82560-54-1  
 化審法番号 : (5)-5639  
 安衛法番号 : 8-(4)-928

成分名 : アセトン  
 含有量(%) : 0.1  
 CAS No. : 67-64-1  
 化審法番号 : (2)-542  
 安衛法番号 : -

成分名 : 水、界面活性剤等  
 含有量(%) : 残量

### 3. 危険有害性の要約

#### 最重要危険有害性

#### 有害性

粉塵は眼を刺激し、吸入したり飲み込んだ場合、カーバメート剤共通の中毒症状を呈する。

#### 環境影響

魚毒性がある。

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

粉塵等を吸入して身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。

#### 皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら石鹸を使って十分に洗浄する。

異常が認められる場合には医師の診断を受ける。

汚れた衣類は再使用前に洗濯しておく。

#### 目に入った場合

速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行い、眼科医の診断を受ける。

眼をこすってはならない。

洗眼は瞼を指で開いて行う。

#### 飲み込んだ場合

直ちに水で口腔内を洗浄する。

コップ 1~2 杯の水を飲ませ、胃中のものを吐き出させる。

速やかに医師の診断を受ける。

#### 最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報

吸入したり飲み込んだ場合、カーバメート剤共通の中毒症状を呈する。

いずれの場合でも、中毒の疑いがある場合には直ちに医師の診断を受ける。

ペンフラカルブによる中毒に対しては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報

告されている。

2-PAM などのオキシムは無効であるので使用しない。

患者の症状に応じて、硫酸アトロピン製剤の静脈注射又は筋肉注射を適度な間隔で繰り返す。

硫酸アトロピン製剤の投与は中毒症状が消えるまで続ける。

必要に応じて酸素吸入や人工呼吸を行う。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の状況に応じた消火剤を使用する。

### 火災時の特定危険有害性

本品は不燃物であるが、本品を含む火災時には、有毒な二酸化硫黄や一酸化炭素及び毒性を有する蒸気が発生するおそれがある。

### 特定の消火方法

放水による消火の場合、本品を高濃度に含有する液が河川等に流出しないように注意が必要である。周辺火災の場合には、何ら危険を伴わなければ速やかに安全な場所に移動させる。

移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

### 消火を行う者の保護

必ず自給式呼吸器と適切な保護服を着用して風上より消火を行う。

火災が発生した場合には、到着した消防署員や警察官に本品が在ることを知らせる。

鎮火後には本品や消化液が河川等に流出しないように処置をする。

作業にあたっては作業衣、ゴム手袋、ゴム長靴、保護ゴーグル及び呼吸保護具を着用して行う。

なお、鎮火後の処置については、製造業者に通報して確認を得るとともに、必要に応じて官公庁の了解を得る。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項

適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、風上で作業する。吸入や接触を避ける。

### 環境に対する注意事項

本品は魚介類に対して強く作用するため、河川等に排出されて環境への影響を起こさないように注意する。

### 除去方法

粉塵がたたないように注意して、可能な限り密閉可能な容器に回収する。

残渣は濡れ雑巾等で拭き取るか、漏洩箇所を大量の水で洗浄する。

本品を拭き取った布等は、製造業者に処理を委託するか、少量であれば燃却する。

屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

### 取扱い

粉塵の吸入、皮膚や眼への接触、及び経口摂取は避ける。

本品の取扱い時には、暴露防止の為に必ず適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。

使用にあたっては、用法・容量を遵守する。本品の用途以外に使用しない。

### 保管

本品の保管は、毒物及び劇物取締法に定めるところに従う。

直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

屋内で使用する場合には、作業場の換気を行う。

### 管理濃度

ベンフラカルブに対する管理濃度(作業環境評価基準(昭和 63 年労働省告示第 79 号))は設定されていない。

### 許容濃度

日本産業衛生学会は、ベンフラカルブに対する許容濃度を設定していないが、アセトンに対して 200 ppm(470 mg/m<sup>3</sup>)を設定している。<sup>1)</sup>

### 保護具

呼吸器用の保護具 : 防毒マスク

手の保護具 : ゴム手袋

目の保護具 : 保護ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣及び長靴

適切な衛生対策

作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。  
 的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。  
 作業着は再使用の前に洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 粘稠懸濁液体  
 色 : 類白色  
 臭い : データなし  
 pH : 8.0~10.0

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし  
 融点/凝固点 : データなし  
 分解温度 : データなし  
 引火点 : データなし  
 発火点 : データなし  
 蒸気圧 : データなし  
 蒸気密度 : データなし  
 比重/密度 : 1.03~1.05

溶解性

水に対する溶解性 : 不溶

オクタノール/水分配係数 (log Pow) : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件では安定。

反応性

知見なし。

避けるべき条件

危険な反応の原因となる条件は知られていない。

避けるべき材料

危険な反応の原因となる化学物質は知られていない。

危険有害な分解生成物

火災時には、有毒な二酸化硫黄や一酸化炭素及び毒性を有する蒸気が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD<sub>50</sub> 値 : ♂644 mg/kg, ♀643 mg/kg(ラット)  
 LD<sub>50</sub> 値 : ♂787.8 mg/kg, ♀938.9 mg/kg(マウス)  
 経皮 LD<sub>50</sub> 値 : ♂ ♀ >2000 mg/kg(ラット)  
 吸入 LC<sub>50</sub> 値 : ♂ ♀ >1.07 mg/L(ラット)

局所効果

眼一次刺激性(ウサギ) : 軽度の刺激性あり  
 皮膚一次刺激性(ウサギ) : 刺激性なし

本品(当該薬品)の中毒事例は報告されていないが、カーバメート系殺虫剤に共通の中毒症状(初期症状として、頭痛、目眩、脱力及び嘔気が見られ、後に縮瞳、眼のかすみ、腹部痙攣、唾液の分泌過剰、過剰発汗、下痢及び嘔吐の症状が見られる)を呈すると考えられる。

感作性

皮膚感作性(モルモット) : なし

12. 環境影響情報

生態毒性

LC<sub>50</sub>(96 時間) : 3.4 mg/L(コイ)  
 EC<sub>50</sub>(48 時間) : 0.20 mg/L(オオミジンコ)  
 EbC<sub>50</sub>(0-72 時間) : 21.6 mg/L(藻類)  
 TLm(48 時間) : 3.4 ppm(コイ)  
 TLm(3 時間) : >10 ppm(オオミジンコ)

13. 廃棄上の注意

本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。  
 アフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉で少量ずつ焼却する。  
 大量に廃棄する場合には、製造業者に連絡する。  
 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 未評価

クラス : 未評価

輸送の特定の安全対策及び条件 :

本品の輸送は適用される法令に従って行う。  
 運搬に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないよう積み込む。  
 容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。  
 容器は乱暴に取り扱わない。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 20337 号
毒物及び劇物取締法	指定令第 2 条 劇物
労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物:17 アセトン
化学物質管理促進法(PRTR)	第一種指定化学物質 No.221 ベンフラカルブ
消防法	非該当
火薬類取締法	非該当
船舶安全法	未評価
高压ガス取締法	非該当

16. その他の情報

本品を盗難等で紛失した場合には、速やかにその旨を最寄りの警察署及び製造業者に連絡する。

参考文献

1) 産業衛生学雑誌, 52, 221 (2010)

連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該品を取扱う事業者へ提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該化学製品の一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。